

▲▼▲▼▲▲▼▲▼ 2025年度講座計画 ▲▼▲▼▲▲▼▲▼

第47回講座

「ネット社会が人間の精神にどう影響するか？
～ゲームが作り出す人間関係～」(仮題)

日時：7月6日

講師：熊代 亨さん（精神科医 信大医学部卒業『人間はどこまで家畜か』（ハヤカワ新書ほか著書多数）

第48回講座

エクスカーション<小旅行講座>

「石徹白(いとしろ)集落の小水力発電(岐阜県郡上市白鳥町)」

日時：7～8月頃

第49回講座

「貧困とは何か？～子どもの貧困を考える～」(仮題)

日時：10月下旬～11月頃

講師：専門家、ジャーナリスト、子ども食堂運営者など検討中

第50回講座

「イタリア文化からひもとくイタリア的生き方
～何があってもポジティブ、最後は何故かうまくいく～(仮題)

日時：2026年2～3月頃

講師：金井 直さん（信州大学人文学部教授）ほか検討中

※講座の案内は順次ホームページで公開します。予告なく内容を変更する場合があります。

入会のご案内

信州自遊塾主催・共催の講座やエクスカーション(小旅行講座)などに、無料または会員価格で優先的に参加できます。
個人情報は、会員への連絡以外の目的には使用しません。

◆ 信州自遊塾HPの会員登録フォーム
<http://www.jiyujuku.org/>
(信州自遊塾で検索できます)

年会費：1,000円(1口)

信州自遊塾は、すべてボランティアで運営しています。
複数口(カンパ)大歓迎です。

振込先：八十二銀行 松本駅前支店
(普)866851
信州自遊塾(シンシュウジユウジユク)

入会申込書 (※は必須項目)

フリガナ
※氏名 年 月 日
※西暦 年 生まれ

※住所 〒

職業又は所属団体

添付ファイルが受け取れるメールアドレス

※電話 (1) 電話 (2)

通信欄

コピーしてお使いください

信州自遊塾事務局 〒399-8301安曇野市穂高有明7516-23

メール: info@jiyujuku.org

ーこれからの人間の生き方を考えようー

information
2025

信州自遊塾

Since 2011/3/11



信州自遊塾とは、だれもが参加できる、3・11以降の生き方を学び考える場です。

信州を愛する人の中には、それぞれの分野で素晴らしい活動を行い、物を考え、造り出している人たちがたくさんいます。「信州自遊塾」はこうした人々のネットワークを作り、講座・エクスカーション(小旅行講座)などで新しい時代の人間の幸せを、まじめに楽しく、考え、学ぶ場です。

塾長メッセージ

ごあいさつ

アメリカ大統領のトランプ暴風が吹き荒れる中、世界経済に大きな混乱が起こっています。その影響は経済だけでなく、世界の平和や、日米関係にも大きな変化が起こりつつあります。台湾有事の際は、「日本が西太平洋で最前線に立つ」というアメリカ国防長官の発言もあり、憲法9条を持つ日本が戦争をする国になる不安が増大しています。第2次世界大戦後に打ち立てられた、常識としての平和主義と民主主義に危機が迫っていますが、この理念をどう守っていけばいいのかが世界の喫緊の課題といえるでしょう。

アメリカの大統領選でもそうでしたが、世論の形成がマスコミだけでなく、SNSによって大きく左右される時代になり、選挙動向や人権侵害にも影響が現れています。ネット社会が進行する中で、SNSはもとより、若年層のゲーム依存、生成AIの普及による様々な権利の侵害やフェイク情報の氾濫など、これまでの社会では考えられなかった問題が急増しています。

2011年の東日本大震災で起こった原発事故を機に「これからの生き方を考えよう」と発足した信州自遊塾が取り上げなければならない問題は、毎年増え続けているように思えます。

今年は、昨年度『人間はどこまで家畜か』の講座で大きな反響を呼んだ精神科医の熊代亨さんの第2弾として、ネット社会が人間の精神にどういった影響を与えるのかを考えたいと思います。また、見えにくい課題ですが、社会の抱える大きな問題である「子どもの貧困」を考える講座を予定しています。一方で、暗い世の中のことを考えるだけではエネルギーが湧いてこないの、イタリア人の陽気さの根源を文化から探ろうという楽しい企画も考えています。エクスカーションも小水力発電を生活の中に生かしている魅力的な町を訪れたいと計画中です。

自遊塾の講座やイベントでみなさんとお会いできるのを楽しみにしております。



塾長 松本 猛
(まつもと たけし)

ちひろ美術館常任顧問・
美術評論家・作家・
横浜美術大学客員教授

～これからの人間の生き方を考えよう～

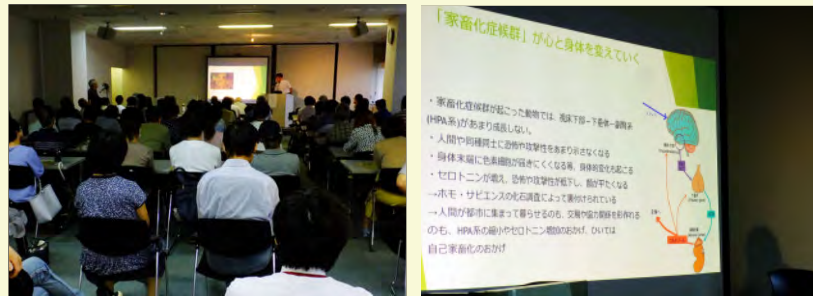
信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>

第44回講座

人間はどこまで家畜か

～同調・思考停止を求める現代社会をどう生きる?～



「人間はどこまで家畜か」という書籍の著者で、TV等のメディアで全国的に注目されている長野県在住の精神科医、熊代亨さんに、「家畜化」の意味と、自遊塾のテーマでもある「現代社会をどう生きるか」を、わかりやすく語って頂きました。若い方も多く参加され、信濃毎日新聞で記事に大きく取り上げられました。

第1部 熊代さんの講演

- ・人は、文明の発達により、人工的な環境の中で、生物学的に野生動物よりも家畜に近い形に進化している。
- ・攻撃性が減って協力が高くなり、渋谷のスクランブル交差点や東京の満員電車で人がぶつかっても喧嘩にならないことなどは、悪いことではない。
- ・一方、近年の社会の変化によって一層「文化的な自己家畜化」が求められていて、それについて行けず、生きづらい人も多い。
- ・資本主義により、コスト・タイムパフォーマンスの奴隷になり、特に、子育てはコスパ・タイプが悪いために敬遠されて、少子化の一因になっている。
- ・西暦2060年と2016年の社会の予測：
 - 子どもの「生産」は政府が統制し、個人でなく専門家が行う
 - IT化やスマホが進歩して、人はサイボーグのよう

第2部 フリーディスカッション

- ざっくばらんな雰囲気以下のような質問や意見が出ました。
- ・日本人はキリスト教や個人主義の影響のある欧米人などと比べ家畜化しやすい。
- ・資本主義は人間を労働力として製品化し、そこから逸脱すると発達障がいやうつ病と診断される。精神疾患の種類が昔と変わってきている。
- ・適応しづらい人を含めた「人間に優しい社会」をみんなで考えたい。

開催日時：2024年8月31日(土)

会場：松本市中央公民館 M ウィング会議室

参加者：80名

第45回講座 エクスカーション(小旅行講座)

軽井沢ジビエ×狩猟ツアー



第1部 おしゃべりハンター和部さんによるフィールドワーク

軽井沢を拠点に活動されているハンターの和部洋史さんに実際の狩猟現場で解説いただきました。和部さんからは、猟銃の仕組みや狩猟時にハンターは何をを考えて野山を歩いているのか等、狩猟者ならではの生の話を聞くことが出来ました。狩猟の心構え、狩猟に適した天候、鹿の足跡の見つけ方や新しさの判断方法、鹿が好む場所、銃弾の材質、長野県の狩猟可能区域や区分、期間等も教えてもらいました。会場の湯川トラウトパークは野鳥が生息地になっており、散弾銃による狩猟を試みてもらいました。

第2部 ジビエランチ

浅間会館食育室で、ジビエランチをいただきました。ジビエ特有の臭みや硬さは全く感じませんでした。ジビエ肉以外でも無農薬の野菜や、あいがも米、大豆ミート等のこだわりの食材がふんだんに提供され参加者は大満足でした。

第3部 座学

講師のさだめさんから「長野県の狩猟と有害鳥獣の現状」について解説を受けました。

開催日時：2024年11月30日(土)

会場：軽井沢 湯川トラウトパーク・佐久市浅間会館

参加者：18名

講座の告知や、詳しいレポートは
ホームページでお知らせしています。

ぜひチェックを！ 信州自遊塾 検索



第46回講座

人口減少で日本は亡ぶ？

～移民と共に生きる新時代～



第1部 移民政策専門家である毛受敏浩さん(関西国際大学客員教授 日本国際交流センター前執行理事)の講演

日本の人口減少の現状と外国人増加の実態についてご説明いただき、移民政策の問題点、今後どうしていくべきかをお話いただきました。毛受さんは、「移民をいつまでも”移民”にしておかないことが移民政策で、政府の責務の明確化と『在留外国人基本法』が必要」と語りました。

外国人との共生のために必要なことは、

- ・定住を想定した政府、自治体、地域社会による包括的な受け入れ体制の構築
- ・国民、企業、自治体の意識変革、社会の重要な担い手との認識
- ・外国人が現在の閉塞感を打破することに期待

これらを行わないと、社会の分断を引き起こすと警鐘を鳴らしました。

第2部 質疑応答・フリーディスカッション

毛受さんとコーディネーター佐藤佳子さん(ビジネス専門学校国際関係学科主任)

を囲んで参加者が自由に質問や意見交換を行いました。積極的に手が上がり、多様な意見や質問が出ました。最後に佐藤佳子さんは、「どうやってここ長野県に、有能な方たちに来ていただくか？東京ではなく地方に来てもらうために何が必要かを考える必要がある。ひとつには日本語教育が重要なポイント」ともおっしゃいました。

開催日時：2025年2月24日(月・祝)

会場：松本市中央公民館 M ウィング6階ホール

参加者：90名